

2019年8月25日（日）メッセージアウトライン 「私たちは誰につくのか？」

聖書箇所：Iコリント1：4～18

タイトル：「私たちは誰につくのか？」

テーマ：コリントの教会は聖徒と呼ばれるにはふさわしくない様々な問題を抱えていましたが、そんな彼らをパウロは「聖徒」と呼び、キリストにあって聖なるものとされた兄弟姉妹として、パウロはコリントの教会の人々にこの手紙を書いています。とくに真っ先に取り上げているのが分裂分派の問題です。この問題が生じる裏には、もちろん色々な要素がありますが、私たちが誰につくのか？という実に単純な私たちの好みの問題やこの世の価値観が大きく影響して、教会を揺り動かす問題になること、そしていつしかそれが、私たちの信仰の成長を妨げるものになることを考えていきましょう。

1. 分裂・分派の問題の根っこにあるもの

- ①人間の持っている性質
- ②この世の価値観

2. パウロの見解

- ①あなた方は、今、神の前にどのような存在であるのか
- ②神があなた方をご覧になっている視点で自らを省みるように
- ③分派の内容

3. 私が失敗から学んだこと

4. 結論

- ①私はキリストにつきます、いいえ、それどころか私はキリストのものです
- ②お手本となるクリスチャンを知っていることの幸いとその裏に潜む危険について